

研修責任者等研修事業 都道府県名 ( 奈良県 )  
(教育担当者研修)

I. 研修の開催に関すること

1. 研修開催場所の箇所数 ( 1 )箇所
2. 研修開催場所の選定にあたって考慮したこと

参加数に対応した研修室の広さ、交通機関・研修室設備の利便性を考慮。

3. 研修開催回数 延べ( 1 )回

II. 研修受講者に関すること

1. 研修受講者数等(実人員)  
(開催回別に記入してください)

開催回	応募者数	受講者数
第1回	( 92 )名	( 91 )名
第2回	( )名	( )名
第3回	( )名	( )名

※ 必要な場合、行を追加してご記入ください

2. 研修受講者の所属施設

施設種別	応募者数	受講者数
病院	( 92 )名	( 91 )名
診療所	( 0 )名	( 0 )名
助産所	( 0 )名	( 0 )名
介護老人保健施設	( 0 )名	( 0 )名
指定訪問看護事業所	( 0 )名	( 0 )名
その他 ( )	( 0 )名	( 0 )名

3. 研修受講者のうち、病院の場合の病床規模

許可病床数	受講者数
100床未満	( 4 )
100～200未満	( 22 )
200～400未満	( 55 )
400床以上	( 10 )

4. 研修受講者の職位

職位	人数
看護部長	( 0 )名
看護副部長	( 0 )名
師長	( 9 )名
係長・主任	( 60 )名
スタッフ	( 16 )名
その他	( 6 )名

※ 職位が貴県での区分と異なる場合には、貴県での区分に変更したうえで、ご記入ください

5. 研修の受講資格・選考基準等(施設類型や職位等による基準を設けているか否か等についてご自由にご記入ください)

受講条件: 以下の2項目に該当する者  
①施設各部署の新人教育担当者の任にある者。またはその予定にある者  
②5日間を通して受講できること

募集定員を越す応募者数であったが、受講条件に該当する者はすべて「受講可」とした。

6. 事業の周知及び参加者募集方法(ご自由にご記入ください)

事業の周知について  
①平成23年度奈良県看護協会 教育計画冊子及びホームページに掲載  
②奈良県ホームページに掲載  
③県内の施設に対し、開催要項を施設代表者あて郵送し案内

応募方法について  
往復はがきにて受講希望者が個々に応募できるようにした。

### Ⅲ. 研修内容に関すること

#### 1. 受講形式

- ① 全日程を受講することを基本としたコース形式  
 B 講義毎に部分的に受講する形式

#### 2. 研修プログラム

時期 (月)	研修テーマ	時間数	研修内容・方法
6月	新人看護職員 臨床研修の 体制づくり	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部署全体で新人看護職員を育成する重要性和期待</li> <li>・新人看護職員を育成する風土づくり</li> <li>・研修責任者・教育担当者・実地指導者の役割分担</li> <li>・組織の理念と人材育成の考え方</li> </ul>
		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人看護職員が受けたカリキュラム内容</li> <li>・看護基礎教育の現状と課題について</li> <li>・生涯学習と教育的考え方と関わり</li> </ul>
10月	研修の 企画と評価	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自施設における新人看護職員研修到達目標の設定</li> <li>・研修内容、教育方法、教育評価など年間計画の立案に必要な知識</li> <li>・院内教育のプロセスと評価方法</li> </ul>
11月	課題と解決策 の検討	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の経験に基づく新人看護師・実地指導者・教育システムに関する課題の明確化と解決策の検討</li> <li>・新人看護職員と実地指導者へのメンタルサポート</li> </ul>
11月	年間教育計画 の立案	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育担当者の活動の実際</li> <li>・情報交換</li> <li>施設実施状況の報告・計画の見直し</li> <li>・教育担当者の課題の共有と解決策の検討</li> </ul>

※ 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

※ 時期には実施月をご記入ください。

#### 3. 講師数(実人員)

看護職員:8名

①看護教員(講師、教授など大学の教員も含む) ( 1 )名  
 ②臨床現場の看護職員 看護部長、副看護部長、看護師長 ( 4 )名  
 施設の教育担当者(教育責任者等) ( 3 )名  
 専門看護師・認定看護師 ( 0 )名  
 その他 ( 0 )名

その他の職種:なし 職種等( ) ( )名

#### 4. 1回の研修にかかる日数および時間数(日数、時間数の両項目に記載願います)

(1. でBと回答した場合には、1クールの総日数・時間数を回答願います)

( 5 )日 ( 30 )時間

#### 5. 4. の内訳

講義 ( 21 )時間 演習 ( 9 )時間  
 その他 ( ) ( )時間 オリエンテーション ( 10 )分

#### IV. 事業の評価等に関すること

##### 1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

- ①始め(1日目)に、新人看護職員の理解を深め、教育的に継続して関わりを持つことができるように、学校教育の現状と課題、新人看護職員を受け入れる病院側の課題と役割を講義に取り入れた。その講義を提供するために講師選定を行った。
- ②教育担当者経験の個人差が大きいため、今年度はプログラムの立案を含めた基礎からの学習とした。また、昨年度、責任者研修に参加し、今回、教育担当者研修に参加する者もいたため、その人にも新たな学びが得られ経験が活かせるように、演習を取り入れ、院内教育のプロセスについて、より具体的な研修になるよう講師に依頼した。
- ③新人看護職員教育システムについての取り組みは、年数が浅いため、取り組み事例や工夫した点など、具体的な内容を3施設より紹介する内容をプログラムに取り入れた。  
また、グループワークにより、今後の課題や取り組み方法について意見交換する機会を設けた。

##### 2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

アンケートからは、「教育担当者同士の情報交換ができ、お互いの取り組みについて参考になった。」また、「施設の理念や部署の強みや背景を踏まえた教育計画や評価について学び、育てたい看護師像を明確にした教育計画や各支援について認識が深まった。」という意見が多くあり、自施設での新人看護職員研修実施にむけて、役立つ情報が提供できたプログラムであったと思われる。

しかし、「研修の企画と評価」の講義については、理解度・到達度・活用度の自己評価に個人差がかなりあった。今回の学びが実際に活用され、新人看護職員が離職しない研修と職場づくりができるように、事業の継続が必要であると認識した。また、研修責任者・実地指導者と連携した学習や風土づくりに貢献できる研修が行われるよう工夫する必要があると思われる。

#### V. 事業の委託に関すること

1. 事業の委託    A 委託していない     B 委託している    委託先(社団法人 奈良県看護協会)